

## 第 32 回日本トライアスロン選手権（2026/東京・台場）中国ブロック代表選手選考基準

### 【1】 目的

年々、高速化の進む日本選手権での完走と成績向上を目指し、中国ブロック代表にふさわしい選手を選考するため、基準等を以下のとおり定める。

### 【2】 選考対象大会

さくらおろち湖スプリントトライアスロン大会（2026年5月24日開催）

### 【3】 選考人数及び選考基準

代表人数については2026年 TRIJ の定める中国ブロック枠（男子2枠、女子2枠）に準じて、次により選考する。

- 1) 2026年選考対象大会（1大会）で中国ブロック上位の者。但し、以下の基準（カットオフタイム）を上回っていること。
- 2) 上記選考枠内に入った選手が他の基準で日本選手権出場資格を取得した（している）場合及び代表内定した選手が辞退した場合については、ブロック強化委員会からの推薦に基づき残りの枠を選考する。
- 3) 選考にあたっては、次の基準を適用する。

#### ①カットオフタイム

・選手権選考部門での出場者を対象とし、ゴールタイムでトップより男子5%、女子8%以内でフィニッシュし、かつスイムタイムが完走者のスイムトップより男子、女子ともに8%以内でスイムフィニッシュしていること。

#### ②ウエットスーツ

・ウエットスーツの着用については日本選手権の着用基準と同等とするが、選考大会の着用判断を適用する。

#### ③比較条件

・日本選手権完走の必須条件として速いスイムタイムが求められることから、ロールダウンとなった場合に比較する条件としてスイムタイムを重視し、その他大会レベル等（出場選手、参加人数、コース、気象条件等）を勘案する。

- 4) 学連登録選手は中国ブロック域内に所属する大学の所在地がある学連選手のみ選考対象とする。

- 5) 気象条件等により選考大会の一部または全部が行われなかった場合の取り扱いについては

①スイム中止の場合は、認定記録会（2025年11月1日～2026年5月末日開催）の400mスイムタイムを倍にしてバイク・ランのタイムに加味し判断材料とする。

②全競技中止の場合は、7月31日までに出場した2026年度 TRIJ 公式大会（エリートレース）の成績により判断する。

### 【4】 その他

ここで定める選考基準は、TRIJ の規定変更や関係団体との調整等により変更する場合がある。